

KANAGAWA ARTS PRESS

September, 2008

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川芸術PRESS84号(通巻88号)2008年9月15日発行(奇数月15日発行)
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団●禁無断転載・複写●

Creator's Voice 103 人形劇俳優

平常
たいら じょう



芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設催し物情報 04&05

特集 小金沢健人&アート・コンプレックス2008 07

写真:幸田 森

人形劇は、美術、演劇、舞踊、音楽、ほか全ての要素が含まれる総合芸術です。その感動をきちんと伝えられる舞台人でありたいと思っています。



人形劇俳優

たいら じょう
平 常

10月の県立青少年センターでの公演が、神奈川で初の上演となる平常さんの「天守物語」。人形劇で一人芝居。独創的な人形の製作から、演出や美術まで自ら手がけるというユニークな活動が目目されている平さんに、人形劇の魅力を伺いました。

平さんと人形劇との出会いはいつ頃だったのでしょうか？

生まれて気がついたら既に人形劇の虜でした(笑)。見るだけでなく自分で人形劇をやることも大好きで、一番素直に感情や自分自身を表現できる場だったんです。人形劇は自分の行きたい世界、想像した世界をどんどん作れますし、ダンボールの切れ端があれば人形とセットはできるから、お金もかからない(笑)。僕にとって人形劇は、創意工夫と精神的豊かさに溢れる贅沢な遊びだったんです。

そして、プロの人形劇俳優になるには、どのような鍛錬が役立ちましたか？

様々なジャンルに興味があったので、ヴァイオリン、ダンス、日本舞踊などをやりましたが、一番得たものが大きいのは日本の古典芸能ですね。特に日本舞踊の所作、身のこなし、溜め、間。そういうものが、人形を操るときのバランス感覚や無駄のない美しい動きに活かされています。あと、人形浄瑠璃を習ったことも大きかったです。人形の握り方や足の運び方、腰の入れ方を徹底的に直してもらいました。考えれば当たり前のことですが、人形浄瑠璃が進化したものが日本の現代人形劇なんですよ。その歴史の延長線上に私の人形劇もあるんです。

平さんの人形劇は一人芝居という点がとてもユニークですが、その特徴はどんなところですか？

僕が一人芝居で上演した「毛皮のマリー」(寺山修司作)の公演後のアンケートに「今日の舞台の登場人物を、全て家に持ち帰って一人で泣きます」って書いてあったんです。このお客さんは登場人物全員を自分自身に置き換えて、僕の芝居を見てくれたんだと思います。これを読んで改めて、一人芝居のなせる業を実感したんです。

今度の「天守物語」なら、若き鷹匠・図書之助の真摯な気持ち、天守夫人・富姫の自然を敬い愛する気持ちとその気高さ、殿様・武田播磨守のような傲慢さ、富姫に仕える侍女たちの謙虚な気持ち。一人の役者が演じ分けることで、全ての役柄の感情を一人の人間が男女に関係なく持ちうる、ということを明瞭に表現できる。それが一人芝居の利点だと思うんです。

そして、そういう芝居を見ることで、観客が舞台を鏡にして自分自身と向き合い、新しい感情や真の自分の姿に気づいてほしいと思います。

「人形劇」で「一人芝居」。観客の側も想像力を働かせて、演じ手と一緒に芝居を作っていくということでしょうか？

ええ、観客が自分の想像力を一番働かせる舞台が人形劇なんですよ。「前半と後半で人形を変えてましたか?」とか「目が動くようにできているんですね?」とか言われるんですけど、全然そんな細工は無いんです。生身の俳優と違って、人形の顔は変わらないのに、かえてその不自由さがお客さんの想像力を深く深く抉り出す。そうすることで、怒り、悲しみ、苦しみ、愛情、優しさといった様々な人間の心の奥行きを、立体的に感じることができる。人形劇にはテレビのようなメディアでは再現できない、真の表現の豊かさが溢れていると思います。



今回の公演は大人向けですね？
平さんの人形劇ならではの泉鏡花作「天守物語」の魅力を教えてください。

大人だけがじっと息を潜めて劇場空間を共有すると、秘密めいた妖しい美に彩られた「天守物語」の世界が拡がります。泉鏡花の作品には、観客も積極的に想像力を働かせないと受け取れないイメージがたくさん含まれていますから、人形劇独特の素晴らしい想像力の効果で、作品の奥深さに触れてもらえます。中でもこの作品は妖精と人間の恋愛を通して、作者の自然界への凄まじいまでの愛情が描かれている傑作戯曲です。また、今の世相にも通じる愚かな人間たちへの皮肉があちこちに散りばめられていて、それが美しい言葉で語られることで、鏡花独特の世界が作られています。

それと、鏡花というおどろおどろしい一面が強調されがちですけど、本当はユーモアがいっぱいあるんですよ。人形劇にはユーモアを引き出す力もありますから、ぜひそこにも注目してください。

寺山修司さんの作品もそうですが、戯曲の一言一言にお酒のように人を酔わせる魅力があります。

その言葉の素晴らしさをより深く表現できるように、これから本番に向けて僕は壮絶な稽古をしていきます。台本だとさらっと読める量ですが(笑)、演じるのは苦しく大変な道のりなのです。

人形劇は、美術、演劇、舞踊、音楽、ほか全ての要素が含まれる総合芸術です。その感動をきちんと伝えられる舞台人でありたいと思って、毎回僕は敬虔な気持ちで舞台上がります。神奈川のお客さんはいつも真剣に見てくれますから、とてもうれしいです。今回も人形劇の本当の力を、ぜひ自分の目で確かめてください。(聞き手・文:編集部)

プロフィール

平常 (人形劇俳優)

Jo TAIRA

1981年生まれ。札幌市出身。12歳で札幌の人形劇界にデビュー。人形劇のほかに、日本舞踊、パントマイム、ダンス、人間劇への参加など、幅広い舞台活動を展開。01年上京。大人のための人形劇から赤ちゃんのための人形劇まで、国内外にて多数の上演活動と指導を実施。04年、大人の観客限定で上演した「毛皮のマリー」(寺山修司原作)が全国人形劇大賞に於いて史上最年少で銀賞を受賞。人形劇を「年齢を問わない全ての人の文化に」というその活動が、テレビなどの多くのメディアでも度々取り上げられ、大きな話題を集めている。07年以降、欧米でも公演を実施し多くの観客を熱狂させた。



<人形劇俳優・平常の世界>

泉鏡花原作「天守物語」

演出・美術・人形操演:平常(たいらじょう)

●日時 10/11(土)・12日(日)共に15:00開演

●会場 神奈川県立青少年センターホール
(桜木町駅徒歩10分)

●料金 全席指定一般3,500円、ペア券6,000円、トリプル券(3名セット券)7,500円、学生2,000円
※小学生以下のお子様はご入場できません。

●チケット・お問い合わせ
県民ホールチケットセンター TEL045-662-8866
インターネットチケットセンター (24時間受付)

URL <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

●主催:(財)神奈川芸術文化財団、神奈川県

前号からの3回シリーズで、神奈川芸術劇場（以下、芸術劇場）で何が行われようとしているのか、そして芸術劇場はどこに向かおうとしているのか、そんな気になる内容をご紹介します。今号では、芸術劇場の運営方法の特徴と人材育成事業について話を進めていきます。

芸術劇場の貸館システム

前号では、芸術劇場の創造活動について触れ、3つの「つくる」のうち、①モノを「つくる」＜芸術の創造＞についてご紹介しました。だからと言って、1年間を通して劇場自らが創造活動ばかりするわけではありません。芸術劇場の目的に沿った芸術活動をしている方々に劇場を活用していただき、一緒にモノ創りをしていきたいと考えています。

芸術劇場の目的の一つは「優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を県民の皆さんに提供する」ことですので、例えば、話題性やエンターテインメント性の高い公演を行う興行主さん等に長期間お貸しすることを検討しています。これは、多様化・高度化する県民の皆さんの鑑賞ニーズに十分応えるための仕組みづくりの一つで、「特定貸館事業」と呼んでいます。

また、実験的、先駆的な創造活動をしている劇団やダンスカンパニーにも積極的に貸し出したいと考えており、企画書を提出していただき、劇場の目的に合うかどうか利用調整をした上で、ご利用いただく仕組みづくりを検討しています。これを「一般貸館事業」と呼んでいます。この貸館事業においてもある程度長期の利用者が中心になることを想定しています。これもじっくりと作品を練り上げることが、質の高い魅力的な作品創りにつながると考えるからです。

一般貸館の利用調整

ここで少し施設利用者の視点に立った芸術劇場の特徴をご紹介します。これまで多くの公立文化施設は、文化活動の発表の場の提供など、広く多くの利用者に貸し出す貸館主体の施設運営をしてきました。貸し出すシステムは大方、1日単位の「抽選」により、公平・平等さを担保してきました。公立文化施設は、こうした施設運営により、活発に行われている文化活動の受け皿としてその役割を果たしてきましたし、これからも地域文化の発展のために重要な役割を担っていくことには変わりはありません。

しかし一方で、こうしたシステムに馴染まない利用者、特に演劇関係の利用者にとっては、必ずしも利用しやすいシステムではなかったという事情もあります。しっかりとした作品を創ろうとすると、本番3日間の出し物であれば舞台の仕込みに1日、できれば通し稽古に別に1日ぐらい連続して利用したいという希望があります。1日単位の抽選では、余程の偶然が重なるとか、施設側の特段の配慮がなければ、そういう利用方法は不可能というのが実情ではないかと思えます。

こうした利用者のニーズに即して、ご利用いただくための補完的な新たな仕組みとして、前述した「一

般貸館事業」の運営を行います。芸術劇場の利用調整の方法は、これから具体化を進めていきますが、調整にあたって公正さを担保するために、調整基準の透明性と説明責任を果たしていきたいと考えています。

使い勝手のいい劇場

公立文化施設の使い難さとして“してはいけないことが多過ぎる”というご批判を受けることがあります。詳細事例は省略しますが、芸術劇場は、安全管理と原状回復を条件に、より良い作品創りのためであれば、原則として舞台は何をしてもいいところ、というスタンスをとりたくて考えています。これは、使い勝手のいい劇場運営を目指すということですが、同時に施設利用者にも確かな安全管理の知識と見識を持っていただきたいということでもあります。

また、貸館事業といえども、貸しっぱなしのほったらかしにはしないことを付け加えておきます。劇場の専門スタッフがより良い作品づくりのためにサポートする体制づくりを検討しています。できないことがあれば、劇場スタッフが一緒にできる方法を考える、そんな作品創りの立場に立った劇場運営を目指していきます。

何故なら、これも全て①モノを「つくる」＜芸術の創造＞、②人を「つくる」＜人材の育成＞の推進につながると考えるからです。

アカデミックとスタンダード

さて、②人を「つくる」＜人材の育成＞の話に移ります。アカデミックな教育が全てではありませんが、この国の芸術教育環境を見渡してみると、美術や音楽に比べて演劇、ダンスや舞台技術を学ぶパブリックな場が極端に少ない、また、その習得する技術にスタンダードがないという現状があります。芸術劇場では、そうした課題を少しでも解決するために、多種多様な芸術人材の育成プログラムを検討しています。

一例として、舞台技術者向けのワークショップを挙げることができます。舞台、照明、音響等の舞台技術のスタンダードもあるようでないのが現状です。急速に発展するデジタル技術や新しい機能の基礎知識、またその利用手法に地域格差や施設間格差が発生しています。

さらに複雑・高度化する演出要求に 대응していくこ

とも舞台技術者には求められます。こうした技術水準や劇場管理のあり方を探る必要性は年々高まっていると言えるでしょう。

その他に、芸術と社会の橋渡し役と言われるアート・マネジメント人材の育成や俳優、ダンサー、演出家、脚本家などのアーティスト的な分野の人材、さらには近隣教育機関との連携による若手芸術人材の育成、地域の文化施設との人材交流なども視野に入れて検討しています。

芸術劇場は、作品創りの場であるとともに、舞台芸術の緩やかで楽しい教育普及機関でありたいと考えています。

親しまれる劇場

芸術劇場の発展は、地域社会との結び付きなくしてはあり得ません。そのためには何よりも芸術劇場で何が行われ、何が行われようとしているのかを皆さんに知っていただくことが大切です。芸術劇場は常に情報を発信し、舞台芸術への関心を高めていただけるような取り組みを目指していきます。

舞台芸術の鑑賞講座、劇場のバックステージツアーの開催や同時代の舞台芸術動向をお知らせするようなブックレット（小冊子）の発行など個別、具体的な普及事業を検討しています。

芸術劇場は、誰でも気軽にアクセスができる開かれた交流の場として、県民の皆さんに親しまれる劇場を目指し、今後、様々な提案をさせていただきたいと考えています。（次号に続く）



「かながわ舞台技術ワークショップ」から

*「神奈川芸術劇場」の施設概要や開設に向けた取組みについては、県のホームページ（<http://www.pref.kanagawa.jp/>）をご覧ください。

*KANAGAWA ARTS PRESSのバックナンバーは、神奈川県総合文化芸術情報ホームページ「かな@（アット）」<http://kanagawa-at.info> をご覧ください。

神奈川県内・公立施設催し物情報
(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えのないようお願いいたします。

横浜市

■横浜美術館 045-221-0300

11月15日(土)～平成21年1月25日(日)
10:00～18:00※金曜は20:00まで(入館は閉館
の30分前まで)※木曜休館(12/25は開館)
セザンヌ主義

一父と呼ばれる画家への礼賛

一般1,400円 大・高1,100円 中800円
小学生以下無料 ※前売・各種割引料金あり

■横浜赤レンガ倉庫1号館・新港ピア他

開催中～11月30日(日) 10:00～18:00

横浜トリエンナーレ2008

一般1,800円 大学生1,300円 高校生700円

*チケットは、会期中2日間有効(連続しない日も可)
中学生以下・障がい者手帳をご持参の方とその介
護者1名は無料 ハローダイヤル 03-5777-8600

■横浜市民ギャラリーあざみ野 045-910-5656

10月24日(金)～11月9日(日) 10:00～18:00

※10/27(月)休館

「スーパービューア2008」展

300円 高校生以下・障がい者手帳をお持ちの方とそ
の介助者1名は無料

■開港記念会館・関内ホール・

ランドマークホール他多数会場

10月11日(土)～12日(日)

横浜JAZZ PROMENADE 2008

1日4,000円、前売ペア・両日各7,500円、当日1日
5,000円、当日みらいパス(中・高生対象) 1,000円

■泉区民文化センター

「テアトルフォンテ」ホール 045-805-4000

10月12日(日) 13:30

ビッグバンドコンサート「BIGBANDS ARE BACK!」

全席指定 2,000円 学生 1,800円

■港南区民文化センター

「ひまわりの郷」ホール 045-848-0800

10月19日(日) 14:00

田部京子ピアノ・リサイタル

全席指定 5,000円

■青葉区民文化センター

フィリアホール 045-982-9999

児玉 桃メシアン・プロジェクト2008～メシアン生誕

100年記念特別企画～ピアノ・リサイタル

10月18日(土) 14:00(プレ・トーク13:15～)

I「幼子イエスに注ぐ20のまなざし」

11月2日(日) 14:00 II「鳥のカタログ」

S 4,000円 A 3,000円 2回セット券 S 7,200円

学生券(当日残席がある場合のみ) 1,000円

■神奈川県民文化センター

かなっくホール 045-440-1211

10月25日(土) 13:30

アートマネジメント講座「プロデューサーのお仕事」

～「プロデューサー」の頭の中、教えます

講師: 松森隆一(嘉悦大学教授)

2,000円

■県立青少年センターホール

10月20日(月) 18:00

人形浄瑠璃文楽

「二人三番叟」、「御所桜堀川夜討」弁慶上使の段、

「傾城恋飛脚」新口村の段

A 2,500円 B 2,000円 学生 1,000円

県民ホールチケットセンター 045-662-8866

11月30日(日) 13:00

かながわこども民俗芸能フェスティバル

～れとろびーと2008～

入場無料(往復はがきで事前申込み)

県立青少年センター企画課 045-263-4475

■県立歴史博物館 045-201-0926

<http://ch.kanagawa-museum.jp/>

10月18日(土)～11月24日(月・祝) 9:30～17:00

※金曜は20:00まで(入館は閉館の30分前まで)

※月曜休館(11/3・24は開館)

特別展「戦国大名北条氏とその文書

一文書が教えてくれるさまざまなこと」

20歳以上600円 20歳未満・学生 400円※65歳

以上・高校生以下・障害者手帳をお持ちの方は

無料

11月1・8・15・22日各土曜 全4回 14:00

県博講座「箱根・小田原の歴史と美術」

※申込は往復はがきか、HPのフォームメールにて
10/22(水) 必着 無料 定員70名

11月29日(土) 13:30 15:00

横浜開港150周年記念 ミュージウムコンサート

「吹奏楽で辿る歴史の旅」ペリー上陸時に軍楽隊

が奏でた曲等を浦賀ウインドオーケストラが演奏

※申込は往復はがきか、HPのフォームメールにて11/19

(水) 必着 無料 定員70名

■県立金沢文庫 045-701-9069

10月3日(金)～12月7日(日) 9:00～16:30

※土・日・祝日は17:00まで(入館は閉館の30分前まで)

特別展「釈迦追慕」

称名寺の重文・釈迦如来立像 造立700年記念展

成人 500円 20歳未満・学生 300円

※65歳以上・高校生以下・障害者手帳をお持ちの

方は無料

11月1・8・15・22・29日・12月6日の各土曜日
県立機関活用講座「釈迦信仰とその周辺」
清涼寺式釈迦如来像について語る(全6回連続)
13:30～15:30
5,000円 申込は往復はがきにて10/21(火) 必着

11月16日(日) 13:30～15:30

秋季特別講演会「称名寺釈迦如来像の周辺」

成城大学学長・清水眞澄氏による講演会

当日の観覧料、申込は往復はがきにて11/5(水)

必着

川崎市

第14回KAWASAKIしんゆり映画祭 044-953-7652

■ワナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘

10月12日(日)

■川崎市アートセンター

10月12日(日)～11月3日(月・祝)

前売800円 当日1,000円(プログラムにより特別料金あり)

川崎郷土・市民劇「池上幸豊とその妻」 044-200-9822

■川崎大師周辺

10月19日(日) シンポジウム

(史跡巡り・水鳥の祭り見学他) 無料

■エポックなかはら

11月11日(火) 18:30・12日(水) 15:00

大人2,300円(前売2,000円) 高校生以下500円

■川崎市教育文化会館

11月22日(土) 14:00 18:30

大人2,300円(前売2,000円) 高校生以下500円

■アートガーデンかわさき 044-222-8821

第42回かわさき市美術展入賞・入選作品展

第1期 10月24日(金)～11月1日(土)

彫刻・立体造形・工芸・書・写真

第2期 11月7日(金)～15日(土)


日本画・油彩・水彩・版画

1・2期共10:00～18:00 月曜休館 無料

横須賀・三浦地区

■よこすか芸術劇場 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>

①10月12日(日) 18:00  託児

浜さ知らズオーケストラ&ファンファーレ・チャコリアー


S 5,000円 A 4,000円

②10月26日(日) 16:00  託児

ローザンヌ歌劇場 ビゼー「カルメン」


(全4幕/原語上演・字幕付き)

S 17,000円 A 14,000円 B 11,000円 C 8,000円

③11月8日(土) 15:00  託児

サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団

S 12,000円 A 10,000円 B 8,000円 C 6,000円

④11月15日(土) 18:00  託児

FLAMENCO 曾根崎心中

S 7,500円 A 5,500円

※①～④ 学生(24歳まで)は各席半額

■横須賀美術館 046-845-1211

10月28日(火)～12月21日(日) 10:00～18:00

※11/10(月)・12/1(月) 休館

日本彫刻の近代展

一般800円 高・大・65歳以上 600円 中学生以下無料

■鎌倉芸術館 ギャラリー

鎌倉市民文化祭 第60回鎌倉市展

写真展 10月2日(木)～10月6日(月)

書道展 10月9日(木)～10月13日(月・祝)

10:00～18:00(最終日は17:00まで) 入場無料

鎌倉市民文化祭企画運営委員会事務局

0467-23-3000(内線2541)

■鎌倉芸術館 大ホール 0467-48-4500

10月4日(土)・5日(日) 14:00

市民音楽劇 ジェームス・クリュス原作

「風のうしろのしあわせの島」

全席指定 おとな2,500円 子ども(4歳～中学生)

1,500円

11月9日(日) 15:00

大友直人指揮 東京交響楽団

S 6,000円 A 5,000円

column: 県立神奈川近代文学館

港の見える丘公園にある近代文学の総合資料館。展覧会のほか、
講演会や朗読会などのイベントも年間を通じて行っています。

10月4日(土)～11月24日(月・振休)

◆特別展「堀田善衛展 スタジオジブリが描く乱世。」

一般700円 20歳未満・学生350円 高校生以下・65歳以上は無料

10月18日(土)11:00/14:00 映画会「風の谷のナウシカ」(1984年 スタジオジブリ作品)

11月8日(土)11:00/14:00 映画会「モスラ」(1961年 東宝 原作・堀田善衛ほか)

11月16日(日)14:00 記念講座「堀田善衛と上海」+対談

講師: 紅野謙介 ゲスト: 堀田百合子(堀田善衛長女)

10月24(金)・11月7日(金)・21日(金)各日14:00 ギャラリートーク～担当職員による展示説明

◆文字・活字文化の日記念事業

10月26日(日) 記念講演会 評論家川本三郎氏と紀田順一郎館長による対談

10月28日(火) 入館無料 入館者対象のプレゼント抽選、バックヤード見学、展示説明会などを実施

■休館日: 月曜(祝日は開館) 12/28～1/4、展示室は展示替期間、閲覧室は毎月末の平日と2/1～10

■開館時間: 展示室 9:30～17:00(入館16:30まで)

閲覧室 9:30～18:30(土日祝は17:00まで) 会議室 9:30～21:00

■所在地等: 〒231-0862 横浜市中区山手町110 電話045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>



©Nibariki

■**県立近代美術館**

三館共通※9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日:月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、12/29～1/3
高校生以下と障害者の方は無料・20名以上の団体料金あり

■**葉山 046-875-2800**

10月18日(土)～平成21年1月25日(日)
現代彫刻の変革者 湯原和夫展
一般800円 20歳未満・学生650円 65歳以上400円

■**鎌倉 0467-22-5000**

開催中～11月24日(月・祝)
岡村桂三郎展
一般700円 20歳未満・学生550円 65歳以上350円

■**鎌倉別館 0467-22-7718**

開催中～12月14日(日)
小宇宙への情熱 美浦康重版画コレクション展
一般250円 20歳未満・学生150円 65歳以上無料

■**逗子文化プラザホール 046-870-6622**

なごさホール
10月9日(木) 14:00
プラザ名画座「カサブランカ」
全席自由 500円(当日700円)

10月18日(土) 15:00
バッハ・コレギウム・ジャパン
「バッハ家の音楽会 バロックダンスとともに」
全席指定 4,000円(当日4,500円) 学生(大学生以下) 2,000円

11月20日(木) 18:30
なごさプラスソリステンコンサート第4回
全席指定 4,000円(当日4,500円) 学生 2,500円

■**三浦市民ホール**

10月5日(日) 13:00 第36回 いなりっこ発表会
11月1日(土) 13:00 第31回 箏と尺八のしらべ
11月3日(月・祝) 9:30 第30回 吟道大会
3日とも無料
三浦市教育委員会生涯学習課046-882-1111(代表)

■**湘南地区**

■**平塚市中央公民館大ホール**

10月4日(土) 14:00
小島章司フラメンコ舞踊団 炎のフラメンコ
全席指定 3,000円

10月23日(木) 18:30
シブリアン・カツァリス ピアノリサイタル
全席指定 4,500円
(財)平塚市文化財団0463-32-2237

■**平塚市民センターホール 0463-32-2237**

11月21日(金) 18:30
魅惑のテノールリサイタル 錦織健
全席指定 3,000円

■**藤沢市民会館大ホール 0466-28-1135**


10月18日(土)・19日(日)・26日(日) 14:00
10月25日(土) 18:00
藤沢市民オペラ
「メリー・ウィドウ」全3幕(日本語上演・字幕付)
S 9,000円 A 8,000円 B 6,500円 C 4,500円 D 3,500円


■**湘南台文化センター市民シアター 0466-28-1135**

11月1日(土) 15:00
加藤健一事務所「詩人の恋」
全席指定3,500円

11月15日(土) 16:00
湘南台トワイライトコンサートシリーズ2008
ロベルト・シューマンの肖像vol.3
全席指定2,500円

■**茅ヶ崎市民文化会館大ホール 0467-85-1123**

10月13日(月・祝) 16:00 
デイリーアウルシアター劇場公演「7日間の人生」
全席自由 一般 2,500円 中～大学生 1,500円 小学生 1,000円

11月8日(土) 18:30 
トゥールーズ室内合奏団&東儀秀樹(プレートあり)
全席指定 A 6,800円 B 5,500円 学生 3,000円

■**茅ヶ崎市美術館 0467-88-1177**

開催中～11月9日(日) 10:00～18:00 月曜休館
(祝日の場合は開館、翌日・翌々日休み) 9/24(水)休館
S氏のコレクション—日本画の名品を中心に—
一般 300円 大学生 200円 高校生以下・市内在住の65歳以上の方・障害者の方とその介護者は無料 ※20名以上の団体料金あり

■**秦野市民文化会館 0463-81-1211**

大ホール
10月30日(木) 14:00
松竹大歌舞伎
S 5,500円 A 4,000円 S4人セット19,800円

小ホール

11月29日(土) 15:00
山本貴志ピアノリサイタル
全席指定 2,000円

■**伊勢原市民文化会館 大ホール 0463-92-2300**

11月15日(土) 18:00
三枝成彰・辰巳琢郎の宝くじおしゃべり音楽館
全席指定 一般2,500円 高校生以下1,500円

11月29日(土) 17:00
ジャズ・アンサンブル 阿夫利 コンサート
全席自由 一般1,500円(当日2,000円) 中高生500円

■**二宮町生涯学習センター 0463-72-6911**

(ラディアン)ホール
11月3日(月・祝) 17:00
オペラアリアと重唱の夕べ
全席自由 2,000円

■**県央地区**

■**厚木市文化会館 大ホール 046-224-9999**

10月5日(日) 16:00
ウィーンの森バーデン市立劇場 オペラ「リコレット」
S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円 学生 2,000円

10月30日(木) 18:30
マッスルミュージカル2008 秋公演 in 厚木
全席指定 7,000円(当日7,500円)

11月19日(水) 19:00
札幌交響楽団[指揮:尾高忠明/ピアノ:小山実稚恵]
S 5,500円 A 4,500円 B 3,000円

■**大和市生涯学習センターホール**

11月30日(日) 14:00
「井上あずみファミリーコンサートwith四重奏」
全席自由 大人2,500円(当日3,000円)
3歳～中学生1,500円(当日2,000円)
(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団046-260-5305

■**海老名市文化会館小ホール 046-232-3231**

10月13日(月・祝) 19:00
兄弟オペラ歌手 崔宋順・崔宋宝チャリティコンサート
全席自由 3,500円(えびかんクラブ3,200円)

■**ハーモニーホール座間 046-255-1100**

10月4日(土) 15:00
～もーれつラッパが爆発する～
「KUWA☆MAN with N響プラスフレンズ」
S4,000円 A3,500円

10月5日(日) 15:00
ニール・サイモンのミュージック・ニュー・コメディー
「グッドドクター」
S4,500円 A3,500円

11月23日(日) 15:00
高嶋ちさ子と愉快な仲間たち～音楽の玉手箱～
S3,500円 A2,500円

■**綾瀬市文化会館 0467-77-1131**


大ホール
10月5日(日) 14:00
ひとみ座人形劇「あやうしズッコケ探検隊」
全席指定 一般1,000円 小学生以下500円


11月15日(土) 14:00
N響団友オーケストラ 市内高校生吹奏楽、中・高生合唱
全席指定 2,000円

小ホール


10月11日(土) 14:00
あやせ芸術さいえん 古典派音楽 美しさの根源(弦楽四重奏)
全席自由 500円

■**グリーンホール相模大野 大ホール**

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999
①10月13日(月・祝) 14:30 
ヴェルディ・ガラ～イタリアの声の響宴
S6,000円 A5,000円 B4,000円 学生1,000円

②10月19日(日) 15:00 
ダン・タイ・ゾン & シンフォニア・ヴァルノヴィア
S9,000円 A7,000円 学生2,500円

10月25日(土) 17:00
観るためプロジェクト2008
山海塾「かがみの隠喩の彼方へ—かげみ」
全席指定 4,500円 シニア(60歳以上) 3,500円
ヤング(25歳以下) 2,500円

③11月3日(月・祝) 14:30 
ウィーン・クラシックス
～ウィーン国立歌劇場来日記念特別演奏会
S8,000円 A6,000円 B4,000円 学生2,000円
※①②③、学生は25歳以下、当日指定

■**社のホールはしもとホール**

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999
10月22日(水) 19:00 
鈴木大介 & The DUO <鬼怒無月(g) & 鈴木大介(g)> Live Cinema Paradise
全席自由 3,500円(当日3,800円) DUO(デュオ・2名)券 *限定50組 6,000円(当日7,000円)

■**県立藤野芸術の家 042-689-3030**

10月19日(日) 15:00
～音楽の都フランクフルトの5人の演奏家による～
弦楽五重奏コンサート「モルダウ」ほか
全席自由 2,500円(当日 2,800円)

■**西湘・足柄地区**

■**仙石原文化センター**

10月19日(日) 13:00
第33回芸術発表会 箱根道中唄などの民俗芸能
無料
箱根町教育委員会生涯学習課0460-85-7601

■**真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128**

9月27日(土)～11月24日(月・祝)
※10/15・11/5は休館
開館20年記念展「駒ヶ岳の道～旅を重ねて～」
大人800円 高校生以下600円(団体は100円引き)

■**真鶴町町民センター3F講義室 0465-68-1128**

10月25日(日) 13:30
「中川一政の風景画の魅力を語る」
講師 富山秀男(前プリジストン美術館長)
無料(定員120名)

■**町立湯河原美術館 0465-63-7788**

10月2日(木)～12月27日(土)
9:00～16:30(入館は16:00まで) ※水曜休館(祝日の場合は開館、翌日が休館)
平松礼二館企画展「旅と風景—画家のスケッチブックから」
常設館企画展「開館10周年記念所蔵品展」
大人600円 小・中学生300円(団体は100円引き)

■**南足柄市文化会館大ホール 0465-73-5111**

11月29日(土) 13:00
劇団飛行船マスクプレイミュージカル
「ノントンふしぎふしぎ～!もりであそぶのたいすき!」
「みにくいあひるのこ」
全席指定 2,000円(チケットは9/27から販売)

■**大井町立中央公民館 0465-83-5409**

・総合体育館
10月25日(土)～26日(日)
第8回 大井町文化祭
無料

 ……託児サービス有り(事前申込)

神奈川県では、ゆとりと潤いの実感できる生活や個性豊かな地域づくりを推進するため、平成20年7月に神奈川県文化芸術振興条例を制定しました。

条例制定の背景

平成15年に実施した「神奈川の文化芸術」に関する県民の意識調査では、「日常生活の中で、優れた文化芸術を鑑賞したり、自ら文化芸術活動を行ったりすることは、大切だ」と考えている方は、82.5%に達しており、多くの県民は、文化芸術の振興に強い期待を寄せています。このことから、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供することや、県民自らが行う文化芸術活動を今後より一層充実させていくことが求められています。

また、本県には、歴史の舞台となった武家政權誕生の地・鎌倉や北条氏の城下町・小田原、近代日本開国の地・横浜など、文化的な魅力に満ちた地域がいくつもあり、こうした地域で先人から受け継がれはぐまれてきた伝統芸能や文化財などの伝統的な文化を保存・継承・活用していくことが大きな課題となっています。加えて、神奈川ならではの新しい文化芸術を創造・発信することにより、魅力ある地域づくりを進めていくことも、地域の活力を高める方策の一つとして取り組んでいく必要があります。

こうした県民のニーズや本県の文化的な特性などを踏まえて、神奈川県文化芸術振興条例を制定しました。

条例の構成

条例の構成は、次のとおりです。

- 目的(第1条)
- 基本理念(第2条)
- 県の責務(第3条)
- 文化芸術振興計画の策定(第4条)
- 基本的施策
 - ・文化芸術の振興(第5条)
 - ・県民の文化芸術活動の充実(第6条～第11条)
 - ・文化資源を活用した地域づくり(第12条～第15条)
 - ・諸条件の整備(第16条～第20条)

○目的

文化芸術振興に関して基本となる事項を条例で定めることにより、県民の文化芸術活動の充実や県内の文化資源を活用した取組みを推進し、心豊かな県民生活と活力に満ちた地域社会を実現することを目的としています。

○基本理念

県民が等しく文化芸術を鑑賞したり、創造できるような環境づくりが図られなければならないことや、文化芸術の多様性が尊重されなければならないことなどを定めています。

○県の責務

県が文化芸術の振興を総合的に実施する責務を有することや、県と市町村との関係、県が県民、芸術家、文化芸術団体、学校などと連携、協働して、文化芸術の振興を効果的に進めることを定めています。

○文化芸術振興計画の策定

知事が、神奈川県文化芸術振興審議会の意見を聴いて、文化芸術の振興に関する基本的な計画を定めることについて規定しています。

○基本的施策

県が実施する基本的施策として次の事項について規定しています。

*文化芸術の振興

文学・音楽・美術・演劇などの芸術や芸能の振興、茶道・華道・書道などの生活文化の普及、伝統的な芸能や文化財などの伝統的な文化の保存、継承、活用に努めます。



県美術展 大賞受賞作家展



相模人形芝居

*県民の文化芸術活動の充実

県民の文化芸術に対する関心や理解を深め

るための普及啓発、活動機会・鑑賞機会の創出に努めるとともに、芸術家や文化芸術団体の育成、支援の実施、青少年、高齢者、障害者の文化芸術活動の充実を図ります。



神奈川フィルと子どもたちとの交流

*文化資源を活用した地域づくり

文化芸術に関する交流や創造的活動を推進するとともに、県内文化資源の観光などへの活用や文化の基盤である景観の形成に努めます。



カナガワミュージックサミット2008

*諸条件の整備

県立文化施設の機能の充実を図り、その運営についての点検を実施するとともに、文化芸術活動に対する個人や事業者から支援の促進などに努めます。



文化芸術活動の拠点 神奈川県民ホール

県では、条例の基本的施策に掲げた事項をもとに、平成20年度中に文化芸術振興計画を策定し、文化芸術に関する施策を推進していく予定です。

条例本文は、県のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/jyoureiseitei/jyoureiseitei.html>

また、条例について説明したリーフレットを10月上旬から、県立文化施設などで配布する予定です。

#001 アート・パフォーマンス

小金沢健人 & アート・コンプレックス2008

美術や音楽など芸術の分野に捉われることなくその領域を横断し、空間芸術と時間芸術が実験的に刺激しあうプロジェクト「アート・コンプレックス」。

2007年の塩田千春展に引き続き、^{こがねざわ たけひと}今回はベルリン在住の美術作家小金沢健人が創り出す映像空間に身体パフォーマンス・音楽が加わり、これまでにない新たなアートシーンが生まれます。どうぞご期待ください!

主催：神奈川県民ホール

小金沢健人展 あれとこれのあいだ

日時 11/1 (土) ~ 29 (土) ※会期中無休

会場：県民ホールギャラリー

開館時間：10:00~18:00

*最終日は16:00閉場(予定) *11月7日、14日、21日の金曜日は19:00まで

*入場は閉場の30分前まで

入場料：一般700円 学生・65歳以上500円

*「横浜トリエンナーレ2008」のチケットの提示により100円引き

*障害者手帳をお持ちの方とその介護の方1名は無料

*かながわアーツ倶楽部会員、10名以上の団体は100円引き

助成：Asahiアサヒビール芸術文化財団 芸術文化振興基金

協力：hiromi yoshii / 財団法人ミモカ美術振興財団

協賛：エプソン販売株式会社 日本電気株式会社 神奈川支社

Panasonic 三菱電機株式会社 神奈川支社



(Lost in Delhi) 2007 Video

神奈川県民ホールギャラリー開館以来初の 壮大な映像インスタレーション

全5室、約1300平米という県下最大級の展示面積をもつ神奈川県民ホールギャラリーはこの秋、ドイツを拠点に世界的に活躍する美術作家、小金沢健人の大規模な個展を開催します。

1997年、横浜市民ギャラリーにて行われた「今日の作家展」で発表した《Untitled》は、粘着質の液体が約50分もの時間を費やしてじわじわと流れ出す映像で、時間そのものを物質化した問題作として多くの観客に注目されました。2005年には横浜トリエンナーレにも出品。近年、小金沢は映像を中心にドローイングやパフォーマンスなど多彩に作品の幅を広げ、今最も注目される作家の一人といえます。今回の展覧会では、2007年、インドで制作された《Lost in Delhi》など全室に映像作品が展示され、中でも最も広い約700平米の展示室では約20台のプロジェクターを使用して壮大な映像インスタレーションが展開されます。

アート・コンプレックス2008/

「ART COMPLEX 2008」

音楽 × 身体 × 映像

監修 一柳 慧 (神奈川県民ホール芸術文化財団芸術総監督)

美術 小金沢健人

**感性を直撃!この旬なアーティストたちの
超・刺激系パフォーマンスは見逃せない!**

今年の「アート・コンプレックス2008」は作曲家の一柳慧と三輪眞弘がプロデュース。

第一夜は、一柳をはじめ秋元美由紀、桑原ゆうら若手作曲家の新作を、能の坂真太郎、青木涼子、一柳本人や寒川晶子のピアノなどの出演でお贈りします。

第二夜は、ガムランのマルガサリが登場します。このパフォーマンスは「小金沢健人展 あれとこれのあいだ」期間中のギャラリー空間を使い、音楽、身体、映像による超・刺激系コラボレーションとなります。



一柳 慧
(作曲/ピアノ)



三輪眞弘
(作曲)



秋元美由紀
(作曲)



桑原ゆう
(作曲)



坂真太郎
(能楽)



青木涼子
(能楽)



寒川晶子
(ピアノ)



マルガサリ
(ガムラン音楽)

11/22 (土) 19:30開演

第一夜〈一柳 慧プロデュース〉

一柳 慧作曲：独奏ピアノのための「インター・コンツェルト」INTERKONZERT ピアノ/寒川晶子

桑原ゆう作曲：「魔法人形によるヴァリエーション」 能謡/青木涼子 ヴィオラ/佐藤佳子

秋元美由紀作曲：「新作委嘱作品」 ピアノ/寒川晶子

一柳 慧作曲：「変容する空間」(新作初演) 能舞/坂真太郎 能謡/青木涼子
ピアノ/一柳慧、寒川晶子

11/24 (月・振休) 19:30開演

第二夜〈三輪眞弘プロデュース〉

三輪眞弘作曲：「愛の賛歌〜4ビート・ガムラン」

出演/マルガサリ(ガムラン音楽)

会場：県民ホールギャラリー

料金：各公演 全席自由 一般2,500円 学生2,000円

発売：友の会9/25 一般9/27

※演奏者、プログラムはやむを得ず変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

チケットの
お求めは



インターネットチケットセンター (24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>



県民ホールチケットセンター 045-662-8866

アクセスはホールニュースの地図を参照ください。取り扱いチケットの最新情報はホームページでご覧になれます。 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>

かながわアートホール

■見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団リハーサル公開(予定)無料

9月	21(日)	28(日)		
10月	4(土)	11(土)	15(水)	16(木)
11月	2(日)	5(水)	6(木)	14(金)

※日時・内容が変更になる場合がありますので、詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局(TEL045-331-4001)までお問合せください。

■休館日

9/16(火)、9/22(月)、9/29(月)、
10/6(月)、10/14(火)、10/20(月)、10/27(月)、
11/4(火)、11/10(月)
横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-341-7657
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/arhall/>

県民ホール前広場の アマチュアミュージシャンの 利用に係る試行事業



写真:
STAR DUST☆TRAIN

県内における新進アマチュアミュージシャンの人材育成を図る取組みの一環として、県民ホール広場の野外演奏を、本年6月から毎月1回試行しています。山下公園を越える海風に歌声が響きます。どうぞ聴きにお越しください。

▼第4回目以降の概要

- ・第4回目 9月23日(火・祝) 16:00~20:00
- ・第5回目 10月25日(土) 13:00~17:00
- ・第6回目 (追加) 11月2日(日) 13:00~17:00

場所 県民ホール前広場

演奏利用者(グループ・個人)募集

※飛び入りの演奏はできません。事前の申込が必要です。詳細は下記問い合わせ先まで。

※演奏利用者名と個別の演奏予定時間については、下記のホームページをご参照ください。

※音量に制限を加えさせて頂く場合があります。

観覧料 無料

問い合わせ 県民文化部文化課文化事業班(相場)
TEL045-210-3808

<http://kanagawa-at.info>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団公演情報

神奈川フィル・チケットサービス
(平日10:00~18:00) 045-226-5107

■横浜みなとみらいホール

第247回定期演奏会 10月17日(金) 19:00
指揮:ハンス=マルティン・シュナイト
S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B) 1,000円
第248回定期演奏会 11月7日(金) 19:00
指揮:パスカール・ヴェロ
S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B) 1,000円

第44回神奈川県美術展 大賞受賞作品決定!

1,800点の応募作品の中から審査の結果、次の4点が各部門の大賞に決定しました。

平面立体部門大賞 大石麻央 ※下記参照
工芸部門大賞 吉井ころろ「月海一つさうみー」
書部門大賞 茂住菁邨「称薦」
写真部門大賞 中山洋之助「将棋三味」
〈入賞・入選作品の展覧会〉

1期展 工芸・書・写真 開催中~9月21日(日)
2期展 平面立体 9月24日(水)~10月5日(日)
※9:00~18:00(最終日は14:00まで)

会場 神奈川県民ホールギャラリー 入場無料
問い合わせ TEL045-633-3687



大石麻央
「アダムとイヴ
もしくは
自分の愛し方」

その他入賞作品は右下段の「かな@」ホームページでご紹介しています。

Yokohama HOOOD!!#8

~ストリートミュージシャンフェスティバル横浜~

セミファイナル:かながわアートホール

テープ審査を通過したオリジナルで勝負部門、なりきりコピー部門、メンバー全
員学生部門の各10組が、フ
ァイナル進出を目指すライブ
コンテストです。

日程 11月15日(土) 16:00
16日(日) 14:00

料金 入場料500円

問い合わせ

NPO法人ARCSHIP TEL045-243-2247

または 県民文化部文化課 TEL045-210-3808

事業内容の詳細 <http://www.arcship.jp/yh/>



写真:前回メンバー-全員学生部門
グランプリ千佐都

第57回神奈川文化賞・スポーツ賞

〈贈呈式・祝賀音楽会〉

日時 11月3日(月・祝)
贈呈式開式13:00(開場12:30)
音楽会開演14:30

会場 神奈川県民ホール大ホール

指揮: 現田茂夫

ソリスト: 高見信行(トランペット)

管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

プログラム: ハイドン/トランペット協奏曲、モーツァルト/交響曲第39番



現田茂夫

申込み 往復はがきに催し名、郵便番号、住所、氏名、電話番号及び人数(1枚で2名まで)を明記し、10月3日(金)までに下記「申込み先」まで(消印有効)

申込み先・問い合わせ

〒231-8588(所在地を記載しなくても届きます)

神奈川県民文化部文化課「贈呈式・音楽会」係
TEL045-210-3808

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

主催: 神奈川県/神奈川新聞社

共催: 神奈川県民ホール

県立神奈川近代文学館友の会募集中

県立神奈川近代文学館では、随時友の会の入会を受付けています。多くの特典がありますので、この機会に是非ご入会ください。

入会特典◆展覧会を無料観覧◆講演会、朗読会などの各種行事や刊行物を会員価格で提供◆人気の行事の情報をいち早くお届け◆友の会限定の文学散歩・文学講座等を開催

会費 年間会費 2,000円(4月~3月)

家族 1,000円(年間会員家族、複数可)

10月からの半期 1,000円

問い合わせ・資料請求

県立神奈川近代文学館(P.4に施設概要あり)

TEL045-622-6666(9:30~17:45)

<http://www.kanabun.or.jp>

県内のアート情報はここで探そう!

かな@で県内のアート情報を検索できます。

<http://kanagawa-at.info>



県民文化部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840

横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804~3806 <http://www.pref.kanagawa.jp/>

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



電球への思い入れは強い。
でも、地球を思う気持ちは、
もっと強かった。



ネオボールZリアール

一般電球のようにネック部に「くびれ」をもたせ、口金以外はランプ表面の大部分が光る電球形蛍光ランプ。当社ホワイトランプ60W形に比べて、消費電力は約5分の1、寿命は約6倍。*2

日本初の電球を **広告**
作った東芝だから、
どこよりも早く一般白熱電球
製造中止を決断しました。*1

*1: ミニクリプトランプ、ハロゲンランプ、反射形ランプなど、現在の電球形蛍光ランプ等に置き換えできない白熱電球は対象外です。調光用途などに一般白熱電球をご使用されているお客さま向けに、当面少量の販売は継続する予定です。
*2: 当社ホワイトランプ比(60W形・LW100V54W55)